

令和6年度 町政懇談会での質問・意見・要望に対するその後の対応

この資料は、令和6年10月30日から11月6日にかけて実施した町政懇談会時に、町民の皆さんから出された意見や要望について、令和7年度予算への反映もふまえ、その後の対応をまとめたものです。

令和7年3月

総務企画課 企画振興係

令和6年度 町政懇談会開催状況

(単位：人)

区 分		10:00～	13:30～	19:00～	参加者数 合計	
10月30日	水	町内 会名	幌延第1・サロベツ・幌延西	北進・下沼・下沼南	問寒別市街地区（問寒別第1・ 問寒別第2・問寒別第3）	7
		場 所	追分生活改善センター	下沼寿の家	問寒別生涯学習センター	
		参 加 者 数	1	4	2	
10月31日	木	町内 会名		開進・上幌延	幌延市街地区（第1・双葉・す ずらん・元町・さくら・第7・ つばめ・第9・第10）	16
		場 所		南上幌延集会所	役場大会議室	
		参 加 者 数		5	11	
11月6日	水	町内 会名		上問寒・中間寒・ 問寒別東・新問寒別		4
		場 所		問寒別生涯学習センター		
		参 加 者 数		4		
参加者数合計					27	

○ 町政懇談会開催状況

(単位：人)

年度	時期	幌延市街	すずらん ※1	サロベツ 幌延第1 幌延西 (北進)	下沼 下沼南 北進	上幌延 開進	問寒別市街	新問寒別 問寒別東 問寒別西 雄興 上問寒 中間寒	計	備考	
H30	2月	11	21	1	10	7	9	7	66	町長選挙	
R1	9~10月	9	18	3	6	5	9	7	57		
R2	10月	12	7	3	8	5	7	6	48	コロナ禍	
R3	10月	9	11	0	5	6	6	6	43	コロナ禍	
※2	R4	2月	26 (午後10、夜間16)				計12 (午後5、夜間7)		26	コロナ禍、町長選挙	
	R5	2月	13	6		3	4	7	33		
	R6	10~11月	11	1	4	5	2	4	27		

※1 令和3年度以前は、すずらん町内会が単独での開催を希望していたが、R4以降は他町内会との合同開催。

※2 令和4年度は、幌延地区（国際交流施設）と問寒別地区（問寒別生涯学習センター）でそれぞれ午後の部・夜間の部を開催。（計4回）

令和6年度町政懇談会での質問・意見・要望に対する担当課名等

課名等	会場での質問・意見、要望等	備考
教育委員会	小中一貫校について	
	上間寒体育館について	
住民生活課	ハイヤー運賃等助成制度について	
	地域デマンド交通について	
	地域コミュニティ形成事業について	
	自転車運転時のヘルメット着用について	
保健福祉課	長寿まつりについて	
	買物バスの運行について	
産業建設課	町道の補修について	
	道道の整備について	
	町営草地について	
	酪農業に対する支援について	
	国営農地再編整備事業について	
	幌延町強い農業・担い手づくり支援事業について	
議会事務局	町議会議員の議員定数について	
西天北五町衛生施設組合	焼却炉の増設について	
総務企画課	告知端末機による配信について	
	町内会活動に対する町バスの利用について	
	町政懇談会の開催について	
	北海道縦貫自動車道音威子府バイパスについて	
	北海道自動車縦貫道中川天塩間における道路計画に関するアンケート調査について	
	問寒別駅への特急停車について	
	問寒別地区における住宅の不足について	
	多世代交流施設について	

令和6年度 町政懇談会での質問・意見・要望（令和6年10月30日、31日、11月6日開催）

教育委員会

No. 1

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
小中一貫校について	今後整備予定の小中一貫校について、想定している児童・生徒数はどのくらいか。（幌延第1、幌延西、サロベツ地区）	120人から130人を想定している。小学生が70人から80人くらいで中学生が40人くらいだが、若干減ることも予想している。（教育長）	会場での回答のとおり。
	問寒別小中学校は将来的に幌延の小中一貫校との統合は考えていないのか。（幌延第1、幌延西、サロベツ）	そのようなビジョンはもっていない。問寒別小中学校は、なるべく今のままの形で残したいと考えている。問寒別から幌延まではスクールバスでも30分、1時間はかかる。小学生がバスで1時間かけて通学するのは厳しいものがある。（教育長）	会場での回答のとおり。
	現在、小中一貫校に係る基本設計が行われているが、小学校高学年の運動場所としてボルダリングウォールの設置を願いたい。ボルダリングは体力増進や集中力を高めるのに効果的と言われている。（下沼、下沼南、北進地区）	ボルダリングの効果は認識しており、色々な意見がある。高さが低いボルダリングウォールを設計に取り入れられるように、今後検討していく。（教育長）	会場での回答のとおり。
	配付されたリーフレットを見ると小ホールで学芸会等の練習を行うと思うが、壁を全面鏡張りとし、練習する姿を自分達で確認できるような設計としてほしい。（下沼、下沼南、北進地区）	現在、ダンスの授業が必修となっており、どの学校にも設置されている。小さな子どもや幼稚園の子ども達が学校に遊びにきた時に利用することもできる。ご意見を参考としたい。（教育長）	会場での回答のとおり。
	小中一貫校へ移転後の中学校はどのように利用するのか。耐震面はどうか。（幌延市街地区）	未定だが体育館は残したいと考えている。（副町長） 耐震面は基準を満たしている。（教育次長） 体育館は土砂災害警戒区域から外れている。合宿など多目的に利用できればと考えている。（教育長）	会場での回答のとおり。
	中学校体育館を合宿で利用するニーズはあるのか。（幌延市街地区）	町内で高校生のバレー合宿が行われたり、他の地域と比べ冷涼な気候ということもあり、一定程度のニーズはあるのではないかと思う。（教育長）	会場での回答のとおり。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
小中一貫校について	<p>小中一貫校の建設費用はどのくらいか。</p> <p>学校と拠点と2つのハコモノを建てて町の財政は大丈夫か。今後、JAEAが残ってくればよいが、残らなければ財政的に厳しくなるのではないか。</p> <p>学校については、今後子どもが減り、学校内がガラガラにならないか心配。</p> <p>発注者としての想定事業費はいくらか。中頓別町では学校に生涯学習センター機能も含め46億円で整備を進め、実質的な一般財源を10億円で済むようにしたようだ。(幌延市街地区)</p>	<p>全体で50億円での整備を目指したい。(教育次長)</p>	<p>基本設計の策定に伴い概算の事業費を約56億に設定した。今後、様々な補助金や交付金を活用し、一般財源を出来る限り抑えていきたい。</p>
	<p>配付されたリーフレットを見ると、正面玄関方向には民家がなく防犯的に心配。(幌延市街地区)</p>	<p>防犯面は検討部会でも話題に出た。防犯カメラ、ライトを設置の他、背の高い植栽木を低い樹木に替える等検討したい。敷地内に遊歩道を設置することも含めて警察の意見も踏まえ検討したい。(教育長)</p>	<p>基本設計に出来るだけ反映させた。</p>
	<p>問寒別小中学校の方が幌延中学校や幌延小学校と比べて古いと思う。</p> <p>問寒別小中学校では過去に中学生が1人という時期もあり、かわいそうだった。同年代の子どもと一緒に学校生活を送れる方が良いのではないか。過去の町政懇談会でも地域からそのような意見があったと思うが。(幌延市街地区)</p>	<p>問寒別小中学校は平成19年度に、今後更に40年度程度校舎を保つことができるよう、大規模改修を実施済み。小中一貫校の建設が終わる頃、大規模改修から20年程度経過するので、中規模改修を行う予定。</p> <p>過去の町政懇談会での意見を踏まえ、学校運営協議会でも意見を聞いたが、地域として残したいということだった。(教育次長)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>
	<p>小中学校の存廃は地域・保護者の要望によるものか。他地域での廃校は、町や教育委員会としての説得などによる部分もあると思うが。今後も施設の修繕費が嵩むということであれば、なおさら検討も必要ではないか。(幌延市街地区)</p>	<p>問寒別地区から幌延市街地区もスクールバスで通学すると遠いところで60分くらいかかる可能性がある。文科省の決まりはないが、目安として30分程度とされており、小さな子どもに60分の通学は厳しいと考えている。(教育長)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>
	<p>小中一貫校建設予定地は浸水区域ではないのか。洪水による浸水の心配はないのか。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>避難所にも指定されており、洪水による浸水被害の心配はない。(教育次長)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
上問寒体育館について	設置からかなりの年数が経過し、建物が傷んでひどい状況。利用者も少ないことから解体をお願いしたい。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)	担当者に伝えます。(町長)	体育館の老朽化が激しく利用が困難な状況で、近年の利用実績は無い。地域住民からの取り壊しの要請を受けて、令和7年度中に解体することとした。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
<p>ハイヤー運賃等助成制度について</p>	<p>チケット枚数を増やす予定はないのか。(開進・上幌延地区)</p>	<p>これまでハイヤー運賃等助成制度は、運賃に応じたチケット利用枚数だったため、運賃が高ければチケットの利用枚数も増え、結果的にチケットが不足するということが起こっていたが、乗合タクシーは、新たに設定された運賃に対し従前のハイヤー運賃等助成から差し引いた自己負担額を支払うこととなるため、結果的にチケット利用枚数が減ることとなる。</p> <p>(例)これまで開進から幌延市街地までの運賃が3,200円だったとして、ハイヤー運賃等助成制度のみの場合は4枚のチケット(自己負担:400円)が必要だったが、乗合タクシーとして利用することでチケット1枚(自己負担:100円)となる。</p>	<p>令和7年4月以降のチケット配布枚数を増やす予定です。地域住民等が誰でも利用回数に制限なく割安にハイヤー等を利用できる地域デマンド交通を実施するとともに、チケット配布枚数を増やして、より地域内での日常生活移動の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幌延市街地：単身世帯 36枚→72枚 複身世帯 24枚→36枚 ・其他地区：単身世帯 84枚→108枚 複身世帯 56枚→72枚
	<p>夫婦ならチケットを融通しあえないのか。(開進・上幌延地区)</p>	<p>そのような声もあるので考えたいと思う。(住民生活課補佐)</p>	<p>家族内で共通化して融通し合える仕組みを検討中で、早ければ令和7年10月以降スタートできるよう準備中です。</p>
<p>地域デマンド交通について</p>	<p>乗合タクシーについて、平日は夜19時まで、土日は17時までの運行で、夜間、タクシーを利用したい人にとっては不便になった。夜タクシーを利用したいので、時間関係なくデマンドで利用できないか。</p> <p>JRで夜札幌から帰ってきててもタクシーがないため、駅から自宅までの足の確保に悩む。(下沼、下沼南、北進地区)</p>	<p>乗合タクシー制度は、交通事業者の営業時間を越えて行くことができない。それ以外の部分は、自家用有償旅客運送事業で行うことができると思うが、それを行う事業者を探さなければならない。(住民生活課補佐)</p> <p>乗合タクシー以外の部分をライドシェアで行うのが良いのか、自家用有償旅客運送事業で行うのが良いのか。問寒別地区でも、色々なことを混ぜ合わせて令和元年から6年行っており、色々なことの積み重ねがあって、どのような方法が良いのか検討してきている。今回、試験的な運行によってどのくらいの需要があるか確認し、需要と供給のバランスによって、どのくらい利用があれば成り立つか確認できる。(町長)</p>	<p>現行の体制においては、交通事業者の営業時間内で対応いただくため、営業時間外での対応はできません。</p> <p>別に交通事業を担う団体等が設立された場合は、夜時間の運行も可能となる場合がありますが、事業実施主体形成が前提となります。</p> <p>現時点で、町として実施する予定はありません。</p>

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応																																																																																												
<p>地域デマンド交通について</p>	<p>乗合タクシーの運行状況は。(幌延市街地区)</p>	<p>10月分の実績はまだ出ていないが、これまでに利用したことがない方の利用が増えているようだ。(住民生活課補佐)</p>	<p>・幌延地区乗合タクシー実証運行結果 (R6.10~11)</p> <table border="1" data-bbox="1429 256 2033 448"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用者</th> <th>延利用者</th> <th>運行回数</th> <th>うち乗合</th> <th>乗合率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>39</td> <td>299</td> <td>282</td> <td>17</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>38</td> <td>286</td> <td>268</td> <td>18</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>77</td> <td>585</td> <td>550</td> <td>35</td> <td>6.4%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1429 483 2033 675"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">幌延市街地間</th> <th colspan="5">幌延市街地</th> </tr> <tr> <th>幌延</th> <th>上幌延</th> <th>下沼</th> <th>北進</th> <th>開進</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>275</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>259</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>534</td> <td>18</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>・乗合タクシー実施により、通常のハイヤー運行に対して1割程度利用を押し上げる効果があった。</p>	区分	利用者	延利用者	運行回数	うち乗合	乗合率	10月	39	299	282	17	6.0%	11月	38	286	268	18	6.7%	計	77	585	550	35	6.4%	区分	幌延市街地間	幌延市街地					幌延	上幌延	下沼	北進	開進	10月	275	6	4	2	3	9	11月	259	12	5	2	2	6	計	534	18	9	4	5	15																																			
区分	利用者	延利用者	運行回数	うち乗合	乗合率																																																																																										
10月	39	299	282	17	6.0%																																																																																										
11月	38	286	268	18	6.7%																																																																																										
計	77	585	550	35	6.4%																																																																																										
区分	幌延市街地間	幌延市街地																																																																																													
		幌延	上幌延	下沼	北進	開進																																																																																									
10月	275	6	4	2	3	9																																																																																									
11月	259	12	5	2	2	6																																																																																									
計	534	18	9	4	5	15																																																																																									
	<p>地域デマンド交通について、10月から試験運行を行っているが、利用状況は怎么样了なっているか。また、試験運行期間後、12月からはどのような対策となるのか。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>利用状況については10月分の取りまとめ後、後ほどお知らせするが、試験運行前よりも利用者が増えているようだ。試験運行期間終了後はアンケート調査を実施し、その意見を反映してより良い運行としたい。なお、問寒別地区の自家用有償運送は12月以降も試験運行同様に継続して実施していく。(住民生活課補佐)</p>	<p>・問寒別地区自家用有償旅客運送実証運行結果 (R6.10~11)</p> <table border="1" data-bbox="1429 815 2033 1038"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用者</th> <th>延利用者</th> <th>運行回数</th> <th>うち乗合</th> <th>乗合率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>10</td> <td>26</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>13</td> <td>41</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>57.7%</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1429 1054 2033 1326"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">問寒別市街地間</th> <th colspan="3">市街地</th> <th colspan="3">天塩中川</th> </tr> <tr> <th>上問寒</th> <th>中間寒</th> <th>問寒別郊外</th> <th>市街地</th> <th>問寒別郊外</th> <th>上問寒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>57.7%</td> <td>7.7%</td> <td>7.7%</td> <td>15.4%</td> <td>7.7%</td> <td>0.0%</td> <td>3.8%</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>31</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>75.6%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>22.0%</td> <td>0.0%</td> <td>2.4%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>68.7%</td> <td>3.0%</td> <td>3.0%</td> <td>19.4%</td> <td>3.0%</td> <td>1.5%</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実証運行の結果を踏まえ、令和7年4月以降、地域住民等が誰でも利用回数に制限なく割安に地域交通を利用できる地域デマンド交通を実施する予定です。問寒別地区は自家用有償旅客運送を継続予定です。</p>	区分	利用者	延利用者	運行回数	うち乗合	乗合率	10月	10	26	18	8	44.4%	うち町外	1	1	1	1	100.0%	11月	13	41	26	15	57.7%	うち町外	0	0	0	0	0.0%	区分	問寒別市街地間	市街地			天塩中川			上問寒	中間寒	問寒別郊外	市街地	問寒別郊外	上問寒	10月	15	2	2	4	2	0	1	うち町外	57.7%	7.7%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	3.8%	11月	31	0	0	9	0	1	0	うち町外	75.6%	0.0%	0.0%	22.0%	0.0%	2.4%	0.0%	計	46	2	2	13	2	1	1	うち町外	68.7%	3.0%	3.0%	19.4%	3.0%	1.5%	1.5%
区分	利用者	延利用者	運行回数	うち乗合	乗合率																																																																																										
10月	10	26	18	8	44.4%																																																																																										
うち町外	1	1	1	1	100.0%																																																																																										
11月	13	41	26	15	57.7%																																																																																										
うち町外	0	0	0	0	0.0%																																																																																										
区分	問寒別市街地間	市街地			天塩中川																																																																																										
		上問寒	中間寒	問寒別郊外	市街地	問寒別郊外	上問寒																																																																																								
10月	15	2	2	4	2	0	1																																																																																								
うち町外	57.7%	7.7%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	3.8%																																																																																								
11月	31	0	0	9	0	1	0																																																																																								
うち町外	75.6%	0.0%	0.0%	22.0%	0.0%	2.4%	0.0%																																																																																								
計	46	2	2	13	2	1	1																																																																																								
うち町外	68.7%	3.0%	3.0%	19.4%	3.0%	1.5%	1.5%																																																																																								

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応																																																												
<p>地域デマンド交通について</p>	<p>問寒別地区は地域外の方は利用をお断りしているが、幌延地区での地域外の方の利用状況はどうなっているか。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>地域外の方の利用も散見され、何件かの利用がある。(住民生活課補佐)</p>	<p>・幌延地区乗合タクシー実証運行による地域外利用状況 (R6.10～11) ※正確に地域外利用を把握することはできませんので、参考値です</p> <table border="1" data-bbox="1429 363 2063 767"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用者</th> <th>延利用者</th> <th>運行回数</th> <th>うち乗合</th> <th>乗合率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>39</td> <td>299</td> <td>282</td> <td>17</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>9</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>3</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>23.1%</td> <td>9.7%</td> <td>9.2%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>38</td> <td>286</td> <td>268</td> <td>18</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>4</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>10.5%</td> <td>7.0%</td> <td>6.7%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>77</td> <td>585</td> <td>550</td> <td>35</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>うち町外</td> <td>13</td> <td>49</td> <td>44</td> <td>5</td> <td>11.4%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>16.9%</td> <td>8.4%</td> <td>8.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	利用者	延利用者	運行回数	うち乗合	乗合率	10月	39	299	282	17	6.0%	うち町外	9	29	26	3	11.5%	割合	23.1%	9.7%	9.2%	-	-	11月	38	286	268	18	6.7%	うち町外	4	20	18	2	11.1%	割合	10.5%	7.0%	6.7%	-	-	計	77	585	550	35	6.4%	うち町外	13	49	44	5	11.4%	割合	16.9%	8.4%	8.0%	-	-
区分	利用者	延利用者	運行回数	うち乗合	乗合率																																																										
10月	39	299	282	17	6.0%																																																										
うち町外	9	29	26	3	11.5%																																																										
割合	23.1%	9.7%	9.2%	-	-																																																										
11月	38	286	268	18	6.7%																																																										
うち町外	4	20	18	2	11.1%																																																										
割合	10.5%	7.0%	6.7%	-	-																																																										
計	77	585	550	35	6.4%																																																										
うち町外	13	49	44	5	11.4%																																																										
割合	16.9%	8.4%	8.0%	-	-																																																										
	<p>地域デマンド交通を利用する際、書類に記入する等の作業が増え、面倒な作業が増えた。プロの運転手なら良いが、ボランティアで運転している人がわずらわしい作業とならないよう何か方法を検討してほしい。問寒別地区の場合、利用者は決まっており、行き先も決まっている。タブレット等で簡単に済ませることができないか。改善していただければと思う。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>わずらわしい作業で皆さんに負担をかけているが、自家用有償運送として運輸局から許可をもらって取り組んでいることから、書類への記入等も必要となる。試験運行期間後に行うアンケート調査によって皆さんからご意見をいただき、改善できる部分は改善していきたい。(住民生活課補佐)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>																																																												

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
地域コミュニティ形成事業について	<p>コミュニティ形成事業に関連するが、地域でボランティアの協力のもと、地域おこし協力隊の力を借りて事業を運営していこうとNPO法人を立ち上げ動き出したところだが、協力隊への応募が少なく、辞めていく人も多い。そのような中、どうして定住してくれないのか考えると、他の町の協力隊と比べて自由度がない。何かやりたいことがあってもできないことからやりにくいようだ。他の地域では副業を認めているところもある。幌延も条件を早急に改善していかないと協力隊がいなくなってしまう。早急に対応してほしい。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>地域によって協力隊に対する考え方は違う。協力隊にどのような仕事をしてもらうか、協力隊員の希望を把握できていなかったという面もある。色々、小間使的な仕事も多く、採用後、そんなつもりで協力隊員になったのではないという思いもあるとも思う。採用後の条件については、今後検討の余地はある。</p> <p>酪農の支援員は時間を越えて仕事をした場合、残業を認めたりもしている。</p> <p>協力隊員は、何かやりたいことを発見してもらおうと募集している部分もあり、その部分ですれ違いがあるのかもしれない。何か自分のやりたいことが見つかったなら、勤務以外の自由時間で取組んでほしいと思う。担当とは打ち合わせしていないが、協力隊員が希望を持てるような条件としたい。(町長)</p>	<p>町内部で活動形態、待遇等の改善策を検討しています。(総務企画課へ要望済み)</p>
	<p>協力隊員は自分のやりたいことがあって入ってくる。何かやってみようかなと思って入ってくる人もいる。協力隊の研修会等に参加すると他の地域での活動状況が分かり、それと自分の仕事を比べると小間使いと思う人もいると思う。なるべく早めに対応してほしい。</p> <p>大事なことは協力隊と地域の人とのコミュニケーション。役場とも良い関係をつくって大事にしていかなければならない。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>採用面接時に何をやりたいか確認していないから、どのような意向で応募したのかわからない面もある。</p> <p>行政と協力隊を繋ぐパイプ役として集落支援員もいる。支援員を通じて行政との意思の疎通を図ることもできる。</p> <p>今後の協力隊員のあり方については、農業支援員への取り組み方が形になっていることから、それを基に早急に考えたい。(町長)</p>	<p>同上</p>
	<p>今いる地域おこし協力隊も冬になったら寒くて辞めて地元に戻ってしまうかもしれない。早急に色々確認して進めた方がよい。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>担当がコミュニケーションをとって、色々行っていると思う。改善できるところが改善して取り組んでいけたら良いと思っている。(町長)</p>	<p>同上</p>
自転車運転時のヘルメット着用について	<p>道路交通法の改正により、自転車を運転する際、ヘルメットの着用が必要だが、市街地では誰一人ヘルメットを着用していない。自分は隣の家に行く時も着用している。今は罰則がないから良いが、町で指導してほしい。(開進・上幌延地区)</p>	<p>わかりました。(町長)</p>	<p>自転車の『ながら運転』の罰則強化のお知らせとあわせて、『ヘルメット着用の努力義務』についてを告知端末にて周知(昨年11月)。</p> <p>今後も、交通安全運動期間など様々な場面において、交通安全指導員等と連携しながら自転車のヘルメット着用について指導・周知する。</p>

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
長寿まつりに ついて	長寿まつりの記念品について、出席しない人は授与されないと聞いた。出席者に授与し、欠席者に授与しないのはおかしいので、対象者全員に授与するよう考えてほしい。(下沼、下沼南、北進地区)	記念品はコロナ禍の時期だけ特例で対象者の自宅まで届けており、現在も後日、欠席者の自宅に届けている。(町長) 案内文書の書き方が分かりづらかったようだ。今後文書を精査し改めたい。(保健福祉課長)	会場での回答のとおり。
買物バスの運 行について	高齢者が町内で服等の買い物ができず困っている。町有バスの運転手問題もあると思うが、名寄市や稚内市へ買い物バスを計画する考えはないか。かなりの頻度で運行することで町職員の雇用に繋がるのではないか。(幌延地市街地区)	過去には社会福祉協議会が実施し、好評だったと聞いている。(副町長) 地域内交通は実証運行しているが、地域外は単独でできるのか。豊富町と連携するなどできれば良いと思う。どの程度の利用者数になるのかも問題と思う。(町長)	社会福祉協議会が実施している高齢者買物ツアーにて、利用者の声をお聞きし、意見のあった内容に対する要望が多い場合は、今後検討したい。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
町道の補修について	町道開進11号線、久喜橋付近。路面が凸凹になっている。砂利の敷き均し等、グレーダーをかけて路面を平らにしてほしい。雨の日に確認すると良くわかる。(開進・上幌延地区)	雨の日も天気の日も、現地を確認して対応します。(産業建設課長)	現地確認を実施。 全体的にわだち掘れがあるため、令和7年度に補修対応予定。
道道の整備について	道道豊富遠別線に架かる月見橋の架け替え工事の際、自分の牧草地に仮設道路を設置しなければならないが、その設置については了解している。その後、測量を行ったようだが、あいさつも何もないし工事をいつから始めるのか説明もない。牧草を販売して生活しており、自分の牧草地を潰して工事に協力しているのだからもっと配慮があっても良いと思う。 また、工事の際、残土が発生すると思うが、その残土を道路脇に土盛りし、地吹雪対策としてヤナギを植えたらどうかと思う。(開進・上幌延地区)	橋梁の架け替え工事に伴って、水道管の移設工事を行う。水道管の移設工事は町の仕事。入札が終わり工事を発注したので、今後、工事を行う予定。 橋梁の架け替え工事は北海道の仕事なので、建設管理部に伝えます。(産業建設課長)	工事施工にあたり、周辺住民への配慮について意見があったことを稚内建設管理部へ伝達。 町発注工事の施工業者にも周辺住民への配慮のうえ工事施工するよう伝達。
町営草地について	町営牧場への入牧頭数が減少しているが、問寒別団地と南沢団地の2団地で預託業務を行っている。1団地でも間に合う頭数なので、どちらかにまとめたらいと思う。(下沼、下沼南、北進地区)	放牧地でも1年間休むと荒れてしまう。少ない頭数でも放牧すると草が荒れない。預託頭数の減少は、農家が減ったこともそうだが、自前で育成舎を整備したことも原因のひとつ。上幌延団地も含め、個人でも利用してくれる方がいるなら利用してほしいと思う。ギガ、メガファームができれば別だが、今以上預託頭数が増えるのは考えにくい。これ以上預託頭数が減ったら1団地にまとめようと考え、担当とも話しはしている。(町長)	会場での回答のとおり。
酪農業に対する支援について	酪農を取り巻く環境は非常に厳しい。乳牛市場での初生メス取引価格は、15万から20万円だったものが今は2、3千円で取引されている。農機具も倍の値段で、収入は下がるが支出は倍になり精神的に疲れる。初妊牛や育成牛の売買価格も下がり、経営は大赤字。町の基幹産業は酪農だが、このような状況が続くなら離農が増える。他の町村の酪農家も同じことを言っている。数十年前まで12,000戸あった全道の酪農家戸数も今では4,500戸くらいしかない。大型経営も行き詰っている。経営を成り立たせるため、国に何らかの支援をしてもらわないとならないが、町単独で支援要請しても国は動かないので、北海道酪農町村長振興協議会等で国に働きかけてほしい。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)	酪農を取り巻く環境が非常に厳しい状況にあると認識している。北海道酪農町村長会議を構成する56町村で、国に支援策を要請していかねばならない。 品質の良い牛乳を生産するには、良いエサが必要だが、牧草は収穫時期の天候不順で良いものを収穫することができず、デントコーンは道北地域以外では豊作と聞いている。今年は、牧草もデントコーンも本町を含めた道北地域だけ生育状況が悪い。そのような状況なので、生乳生産量も全道では前年比110%くらいを見込んでいるが、本町では90%を割り込むかもしれない。本町の酪農を支援するためどのような対策が必要か、農協と協議しながら少しでも支援したいと考え、12月議会で補正予算を提案したい。(町長)	令和6年度収穫期の天候不順による影響(牧草品質・乳量の低下、経費増等)への対策として「幌延町農作物等収量減少緊急対策支援事業」(12月補正予算47,200千円)を実施。 11/19(火)北海道酪農振興町村長会議・北海道公社営畜産事業推進協議会合同中央要請に野々村町長出席。(参加町村・37町村、要請先:農林水産省政務三役、北海道選出国會議員:衆議院議員20名、参議院議員11名、農林水産省畜産局各課、農村振興局各課)

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
国営農地再編整備事業について	現在、町では、国営農地再編整備事業を進めているが、酪農が厳しい状況にある中で、若い経営者は多額の自己負担を伴う草地整備を敬遠している。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)	<p>国営事業については、現在、幌延側で農地防災を実施し、今後、問寒別側で、農地再編整備事業を行おうと地区調査を実施中だが、国営事業を同じ市町村内で2地区行おうとするのは希なこと。</p> <p>農地再編整備事業は他市町村でも採択待ちの地区数が多く、地区調査まで10年はかかると言われ、農地防災事業完了後、令和13年度以降でなければ調査を行うことはできないと言われていた。</p> <p>農地再編整備事業は作業の効率化や省力化等を図るため必要な事業である。隣町の中頓別町でも要望していたが、農地面積が少なく事業採択要件を満たすことが難しかったため、問寒別地区と合わせて一つの地区として事業を実施することができないか平成27年度頃から要望を進めてきた。その後、中頓別町は道営事業で草地整備を行ったことから問寒別地区のみで事業を要望し、令和3年度から地域整備検討調査、令和5年度から地区調査を実施し、来年度までにある程度事業量をまとめなければならない時期となった。今後は、令和8年度から実施計画を策定し、順調にければ令和11年度に事業採択申請を行うことになる。</p> <p>令和13年度以降にならないと手をつけるところができないと言われていたものを、要望によって調査を行うことができたため、地元にもう少し喜ばれるものと思っていたが、現段階で採択要件である事業量を満たすことが厳しいとの報告を受けている。この機会を逃せば、今後また10年以上は国営事業を行うことができない。大変残念な気持ちである。(町長)</p>	<p>令和3~6年度に実施した現地調査の結果、事業量は確保できるとの見通し。</p> <p>令和7年度調査によりさらに精査し、事業区域及び受益面積を決定する予定。</p>
幌延町強い農業・担い手づくり支援事業について	先日、農協からFAXが送信されてきた。営農計画に載っていない施設の補修や機械等の購入は町の補助金を利用することができないとの内容だった。昨年度も同じ内容のFAXが送られてきたため、農協には計画に載ってなくても町の補助金は使えるとは言っているが、再度、町の方からも伝えてもらえないか。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)	営農計画に載せなければならないことを採択要件とはしていない。農協に伝えても経済団体の考えは変わらないと思う。(町長)	町政懇談会で意見があったことを農協担当部署へ伝達。(11/19)

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
町議会議員の定数について	町の人口が減っていることから、8人も町議会議員は必要ない。議員定数について町民にも意見を聞けば良いと思う。人口が減っており無駄な報酬を払う必要もないと思う。議員には若い人や女性も必要。次の改選では定員割れすると思う。(開進・上幌延地区)	町議会議員の定数は議会で決めることで、町側からは言えない。(町長)	議員定数は議員しか決められないため、議員定数削減の意見があったことを各議員に伝えます。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
焼却炉の増設について	西天五町で有害鳥獣駆除を行ったエゾシカは、西天五町衛生施設組合で焼却処分しているが、豊富町のエゾシカ買取り業者（ベニソン）が廃業するため、そこで受け入れていた豊富町分のエゾシカも増えることになる。今の焼却炉は1回に50頭しか焼却することができないため、西天五町衛生施設組合を構成する町でお金を出し合って、焼却炉をもう1基増やした方が良いのではないかと。来年から五町で2,000頭くらい焼却することになる。（開進・上幌延地区）	焼却炉の増設については、北海道の許可を得なければならず、協議の際、環境アセス等の必要があることのことであった。環境アセスを行えば、増設まで時間がかかり、焼却頭数の増加に対応できないことから、償却方法の変更等により、ようやく許可が下りたところ。短い工事期間で190頭くらい焼却できる大型の炉を作りたいと考えており、今後構成する町と協議していく。（町長）	西天北五町の構成町と協議を行い、令和7年度に構成町の応分負担により焼却炉を更新、整備を計画しています。 なお、現在の焼却炉については、新規焼却炉完成後、廃炉とします。
	駆除後のエゾシカの処理は焼却の他に好気性発酵による減容化の方法もあるが、その方法では対応できないのか。（開進・上幌延地区）	減容化施設は枝幸町で整備したが、処理できる頭数が少なく、発酵させるためミキシングを行う等、手間と時間がかかるようだ。処理頭数を増やすのに同じ施設を2棟、3棟増やすのであれば焼却炉を増設する方が整備費も安く済むと思う。（町長）	当初、発酵減容化も検討していたが、1回に減容できる頭数の少なさから、数台の機器の設置が必要となり、整備費がかさむことが想定されます。 今回は焼却炉の整備を計画していることから、減容化については実施しないこととして取り進めています。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
告知端末機による配信について	告知端末機での告知頻度や回数に制限はないのか。やたら多く告知されるものもあり気になる。(幌延市街地区)	内部でそこまで手が回っていない。各課に周知したい。(総務企画課長)	告知の回数制限は、設けていない。 告知回数の過剰な放送に対する意見があった旨、庁内会議において各課に周知する。
町内会活動に対する町バスの利用について	この地区に住む人が減って、老人クラブも解散した。高齢化も進んでおり、町内会でレクリエーションを行うこともままならないが、町内会行事でサクランボ狩りに連れてってほしいとの要望があった。町内会行事に町バスを利用することができないのか。(開進・上幌延地区)	町内会の行事として申請し、行程にもよるが、町バスが空いていれば利用可能と思う。(町長)	町の内規において、町又は執行機関が補助金等を支出する団体・協議会等が使用する場合、年間1回まで許可することとしている。 町内会の行事に対して、町バス使用の要望があった場合、全てに対応することは難しいと思われるが、いくつかの町内会が合同で、町バス使用の要望があった場合などに対応できるよう今後検討する。
町政懇談会の開催について	ここ数年、町政懇談会を開催してもらっても、参加する人数が少ない。町で色々取り組んでもらっており町へお願いすることがないのかもしれない。情報の伝達や集める機能が発達し、スマホ等で様々なことが確認できることも要因かと思う。もう少し広域的なくくりで開催する時期にきているのかもしれない。(下沼、下沼南、北進地区)		町民の皆さんが出席しやすいように、事前に各町内会へ開催希望日時や場所を確認しながら開催しているが、コロナ禍を挟んで、年々出席者は減少している。 今後、会場でいただいたご意見をふまえ、開催時期や開催方法の変更等、色々検討し、町民の皆さんが、行政に意見を伝えやすい形での実施に努めていきたいと考えている。
北海道縦貫自動車道音威子府バイパスについて	音威子府村から中川町の間バイパスが来年度開通するとのことだが、開建から時期は聞いているか。(幌延市街地区)	時期は開通間近にならないと教えてくれないが、個人的には秋、雪の降る前だと思っている。(総務企画課企画振興係補佐)	会場での回答のとおり。 開通時期は現在も未定だが、令和7年3月13日に開建から、バイパスの名称が「音中道路」に決定したと連絡がある。
北海道自動車縦貫道中川天塩間における道路計画に関するアンケート調査について	ルート案の比較図を見ると天塩側のインターチェンジは天塩雄信内市街地付近にあって、幌延側から道道豊富遠別線を通してそこに向かうと、真っすぐではなく、少し北側に戻る形になっている。問寒別側にインターチェンジをつくるとなると、問寒別市街から離れた場所になってしまう。インターチェンジへの接続は距離が短い方が良いと思う。(下沼、下沼南、北進地区)	ルート選定等には地元の熱量が大事だと思っている。前段のアンケート調査では、本町の回答率が低かった。地域の方や周りの人にアンケート調査への回答を促してほしい。(町長)	会場での回答のとおり。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
問寒別駅への特急停車について	<p>南上幌延駅も雄信内駅も廃止になるかもしれない。このまま進めば、糠南駅も問寒別駅も廃止になる可能性もある。問寒別駅を廃止にしないように、特急が停まる駅としたら良い。最終列車だけでも停まってくればと思う。最終の中川町停車時刻は22時20分で、降りてもタクシーもデマンドも呼べない。問寒別まで帰ってくるのにボランティアで迎えに来てもらっている状況。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>問寒別駅に特急を停車させるのは、なかなか難しいと思う。どこの町村でも同じ状況で、最終の特急だけとか始発の特急だけを停めてくれとなる。</p> <p>特急の最終列車に合わせてのデマンドの運行は大きな課題のひとつ。幌延地区も最終の特急列車到着後移動手段がないのは同じ状況。(町長)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>
問寒別地区における住宅の不足について	<p>住居の関係について、公営住宅に空きがない。問寒別でさらに3名くらい地域おこし協力隊を採用したいとのことだが、実際に3名も来たら住むところがなく、協力隊以外の問寒別地域内で働く人も含めて住む場所がないので、せっかく来てもらっても済む場所がないと困る。</p> <p>昨年の町政懇談会でも空き家関係の調査・検討すると言っていたが、その後空き家の再利用という話もあり聞かないので、早急に人が住める場所を確保しなければ、田舎に来たが住む場所がないということは非常に大変なことになる。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>空き家について調査したところ、使えるところと使えないところが判別された。使えるところは個人の所有で、持ち主の方に「賃貸住宅でもやらないですか」と声をかけているが、1～2戸しかない。</p> <p>公営住宅の整備が1棟で終わり、その後、公営住宅に空きがないということで、民間業者で賃貸住宅を建てるという話しもあった。しかし、民間業者が建てた住宅は、家賃5万円以上でなければ元はとれないとのことであった。</p> <p>問寒別で5万円以上の家賃で住宅を借りる人は、特公賃に入居する人くらいしかいないだろうし、どのような形で住居を確保するかについては頭が痛いところ。</p> <p>空き家があるのであれば、民間業者に取得してもらって賃貸する方法でも良いし、行政が買い取ってリフォームする方法でも良いと思うが、持ち主に「空き家を譲っていただけませんか」と言っても「考えるわ」というだけで返事がもらえないこともあり、なかなか難しい状況が続いている。</p> <p>何とかしなければならぬが、物価が上がりすぎて、民間業者の力を借りて賃貸住宅を建てるのは、家賃5万円ではとても建てられないと言われていたり、ハードルが高いという気がする。</p> <p>まずは、1棟でも2棟でも早めに空き家の持ち主と話をしながら空き家を確保していくということしか今のところ回答できない。(町長)</p>	<p>移住・定住対策としての問寒別の空き家確保は、今後の課題として検討を進める。</p> <p>定住の促進を目的として実施する民間賃貸住宅の建設に対する補助事業は、今後も継続して実施する。</p>

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
<p>問寒別地区における住宅の不足について</p>	<p>個人の住宅にしても、積極的にアプローチしなければ、持ち主から「どうぞ使ってください」「うちの住宅はどうですか?」ということはそれほど多くないと思う。やはり借りる側・使う側が「お願いします」と何回もやらないと、黙っていても持ち主からそれほど立派な施設でもない限りは「使ってください」とはならないと思う。</p> <p>あと、仮設というわけにはいかないかもしれないが、スチールハウスのようなトレーラーで運搬して設置する住宅が1000万円くらいである。それが良いか悪いかはわからないが、そのようなことでもしながらでも、どこかに住む場所を確保しないと、「5万円の賃貸物件は作れないから、ずっとここには誰も住まないでくれ」というわけにはいかないの、何らかの形で、住む場所を探さないといけないと思う。(上問寒、中間寒、新問課別、問寒別東地区)</p>	<p>これまで、民間業者の方々に賃貸住宅を建てほしいとお願いをしてきたが、やはり家賃5万円では建てられず、6~7万円の家賃になってしまう。そうなると問寒別地区でその家賃で入居できる方がいるのか。大きな会社で住居手当が支給されるのであれば、そのくらいの賃貸住宅に入居できるかもしれないが、そのような手当がない方にとって6~7万円の家賃は、経済的な負担が大きいと思う。そこで空き家の持ち主に、補助事業もあるので建ててくださいということを一生涯懸命お願いしていたところ、ようやく「それならやってみようかな」という声を聞けるようになってきた。今後、集中的にお願いし、どういう形でやっていただけるかも含めて進めていくが、早急に空き住宅を確保していくのは難しいという気はしている。</p> <p>我々としても公営住宅のマスタープランの関係もあるが、いずれにしても空き家の持ち主と一生涯懸命話を進めて、色々な形で支援して、なんとか1棟でも2棟でも空き家を確保していくことに変わりはないので、今後もその話は進めていきたいと思う。</p> <p>簡易的な住宅については、5~10年の短期的なおためし入居などには便利な建物だと思う。住宅は需要がある時とない時がある。需要がない時は家賃収入もないので、しっかりとした住宅自体を空き室とするよりは、コンテナハウスなどで対応する方法もある。実際にコンテナハウスはどの地域でも利用されており、あのような形で作ってもらうというのも割とできやすいのかもしれない。もう少し内部で検討する。(町長)</p>	<p>問寒別地区の公営住宅や既存の移住促進住宅に空きがないという現状をふまえ、平成7年度採用予定の地域おこし協力隊員3名に対する住宅不足を、早急に解消する必要があるとのことだったので、トレーラーハウスの設置により住宅を確保することとした。</p> <p>設置するトレーラーハウスは1棟：幅 2.4m×長さ 12m×高さ 2.9m、面積 28.8 平米のもの4棟。地域おこし協力隊員用の住宅として1DKタイプのを3棟、短期移住体験住宅用として2DKタイプのを1棟設置する。</p> <p>整備費として令和7年度予算に必要経費を計上。雪解け後から用地測量等を実施し、降雪前の10月末までには整備完了の予定。</p>

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
問寒別地区における住宅の不足について	<p>1番奥の公営住宅は建設してから50年以上経ち、風呂もない。問寒別には公衆浴場もないわけで、その人たちは風呂もない中で不便な生活をしている。あの住宅をリフォームするといいいのではないかと思う。</p> <p>以前から、農家の奥さん方が「せっかく研修生、実習生を入れたいが、住宅がないから呼べない。このような時代で高齢化が進むと一人でも二人でも実習生が来てくれるとよいが、住宅がないから呼べない、来る人達も家族とは一緒に住めない、それぞれの働き手が家をもってプライベートの時間がとれるとも言われているので、やはりそういう人たちのためにも住宅が必要と思う。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>		問寒別地区における住宅や住環境の整備は、今後の課題として検討を進める。
	<p>問寒別の公営住宅に10月から入りたいという人がいる。公営住宅は空いているのになかなか入居が決まらないうちに11月になった。子どもも含め6人で狭い場所に住んでいる。せっかく問寒別に住みたいと言っているのに、冬は寒くて年越しできないと言って他の町へ行ってしまいかもしれない。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>		問寒別地区における住宅や住環境の整備は、今後の課題として検討を進める。
	<p>今、教員住宅に空きはあるのか。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>今は町外から問寒別小中学校へ通勤する先生がいるので1戸空いているが、定期的に空きはない状況。(教育次長)</p> <p>民間に活かせる住宅があり、これまでそんなことを言ってくれなかったが、ようやく「ちょっと考えてみよう」と言ってくれた人がいる。(町長)</p>	会場での回答のとおり。
	<p>考えてみると言っても、すぐに次の手を打たないと考えているだけで3年も経ってしまう。(上問寒、中間寒、新問寒別、問寒別東地区)</p>	<p>いずれにしても住宅の件に関しては、何らかの方法で行いたい。おためし住宅は基礎を作らなくても充分かもしれない。一生懸命考えるだけでは駄目だと言うことなので色々検討して実行したい。</p> <p>悲痛な叫びと言うことはずっと分かっている。住宅不足が永続的なものなら良いが、本当に高い買い物なので、どのようにすれば良いか本当に頭の痛い問題。(町長)</p>	前段での回答のとおり。緊急的にコンテナハウスの設置によって住宅を確保することとした。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
多世代交流施設について	風呂も整備するのか。食事する場所はあるのか。(問寒別市街地区)	<p>老朽化した老人福祉センター公衆浴場の更新に併せて、生活支援機能等の複合機能を備えた施設の整備を考えている。問寒別地区の方への意見聞き取りの際、問寒別の住民も使いやすいお風呂をとのことだったので、利用時間やバスの運行等について検討したい。</p> <p>施設には高速バスや路線バスの待合所の他、冬の間、患者輸送車両利用者が買い物を終えた後、店先で長い時間待っているという話も聞くので、患者輸送車両も停まるようにしたい。</p> <p>食事する場所については、誰が行うか等の問題もあり考えていない。代わりに飲食に関する自販機を設置したいと考えている。(総務企画課参事)</p>	会場での回答のとおり。
	患者輸送車両利用者は買い物した荷物が重く、それを持ってまで暖かい場所へ移動するなら、寒くてもその場で待っているようだ。(問寒別市街地区)	そのような話も聞く。施設を整備しても同じ状況にならないよう、何か方法を考えたい。(総務企画課参事)	会場での回答のとおり。
	以前、町内会長会議で交流施設には高齢者が気軽に楽しめるものとして、卓球台やビリヤード台、麻雀台等を設置してほしい旨要望したが、配付された資料には載っていない。どうなったか。(開進・上幌延地区)	構想では施設に整備する大まかなスペースの概要を載せており、スペースに設置するものは利用者の意見を聞きながら、基本計画で決めていく。構想の中では老人クラブが利用するスペースとして和室をあげており、卓球等を行う場合は健康増進スペースの利用も考えられる。広さは300㎡くらいで、役場の大会議室と小会議室を合わせた広さ。他のスペースと共用することで整備面積を減少させている。(総務企画課参事)	会場での回答のとおり。
	交流拠点については風呂の老朽化に伴う建替えだけで十分だと考えているが、創生会議で反対しても役場案を進めるといふことか。創生会議委員20名全員がOKしたと捉えられても困る。(幌延市街地区)	色々な意見があったがそのように決めた。(総務企画課参事)	会場での回答のとおり。

テーマ	質問・意見・要望	会場での回答	その後の対応
多世代交流施設について	<p>交流拠点に整備する調理実習室について、生涯学習センターの調理実習室と重複するが、当時整備する際の議論であるような形になったと思うが、町として結論を覆すのか。</p> <p>これから人口が減る一方なのに、このような施設が必要か疑問がある。</p> <p>災害時には給食センターで炊き出しを行うこととなっていると思うが、防災機能として重複するのではないか。</p> <p>既存の施設やスペースを活用した方が良いのではないか。どのような災害を想定しているのか。(幌延市街地区)</p>	<p>生涯学習センターの熱源が電気であることや、保健センターの調理室は狭く、高齢の方等が集まって調理を行う際、ぶつかったりして怪我する可能性も高いことという意見も聞いている。(総務企画課参事)</p> <p>防災、避難所、炊き出しの面で調理スペースが必要という考えもある。(町長)</p> <p>複合施設は子ども、お年寄りの居場所づくりをしたいという観点から、公衆浴場の更新、既存施設の機能集約を考えた。既存施設は今後老朽化が進むが、更新ではなく転用や廃止となっていく見込み。(副町長)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>
	<p>保健センターは廃止するのか。(幌延市街地区)</p>	<p>補助金返還の関係もあるので、廃止ではなく手狭となった郷土資料の保管スペースへの転用等が考えられる。(副町長)</p> <p>拠点ができても検診は設備が整った保健センターを利用して行う。健康相談や教室等は拠点で行うことを考えている。(総務企画課参事)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>
	<p>公衆浴場の年間の利用者数を収入は。</p> <p>町民から「お風呂の建て替えなのに、なぜ役場と繋げるのか」ということを聞かれた。もっとみんなに分かりやすく説明してほしい。(幌延市街地区)</p>	<p>公衆浴場の年間利用者数は1万人程度で収入は150万円程度。収入は少ないが、町民の健康増進を図る施設として利用料金を抑えている。(副町長)</p> <p>整備内容については、わかりやすく説明したい。(総務企画課参事)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>
	<p>拠点の建設により役場職員住宅8戸がなくなると双葉町内会の活動が成り立たなくなる。双葉町内会区域内で代替住宅の整備予定はあるのか。(幌延市街地区)</p>	<p>双葉町内会区域内に代替住宅用の敷地はないので整備は厳しい。(副町長)</p>	<p>会場での回答のとおり。</p>
	<p>拠点整備にここまでの敷地面積が必要なのか。案2(役場西側)の方が、渡り廊下による接続が容易なのではないか。(幌延市街地区)</p>	<p>拠点内に都市間高速バスや路線バス、患者輸送車両のバス待合所を整備することも考えると、案3・4(役場南側、町道3条線沿い)の方が良い。(副町長)</p>	<p>令和5年度から進めてきた「幌延町交流拠点基本構想」については、令和6年12月2日から同年12月21日までの間、パブリックコメント手続きにより、構想(案)に対する意見を町民から募集。期限までに意見の提出がなかったことから、令和6年12月24日に原案のとおり構想を定める。</p> <p>構想における整備場所は、会場での回答のとおり役場南側の案3・4。</p> <p>令和7年度は、基本構想に基づく「多世代交流施設」の整備に向け、基本計画と基本設計の策定を併せて実施する。</p>